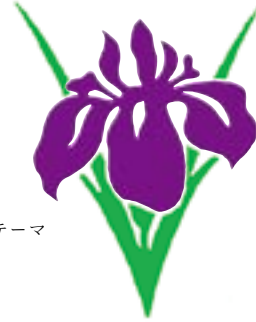


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyac@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 太田 宗一郎  
幹事 杉浦 文雄  
会報委員長 小川 耕示

2010 ~ 2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2706回例会プログラム

[当年度=25回目; 当月=1週目]

2011年(平成23年) 2月7日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. 国歌斉唱  
5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想  
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告  
9. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)  
10. 幹事報告  
11. 出席報告  
12. 委員会報告  
13. ニコニコボックス報告  
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(2/12)……………西三河分区インターシティ・  
ミーティング (IM)  
14:00 ~ リリオコンサートホールおよび  
ホテルクラウンパレス知立  
※2月14日(月)の例会変更分です。  
(2/21)……………クラブフォーラム  
(国際奉仕委員会)  
卓話 「タイ・チェンライ植林活動」  
講師 国際奉仕委員会  
委員長 杉浦 芳一 会員

- 13:00 15. 本日のプログラム  
卓話 「モノづくりと刈谷工業高校」  
講師 刈谷工業高等学校  
校長 鈴木 直樹 様  
(紹介者 渡辺 富香 会員)

16. 謝辞  
17. 点鐘……………〈会長〉  
18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

## 出席席

会員総数 90名 出席免除 25名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 81名  
欠席 10名 出席率 87.65%  
前々回(1/24)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 2月4日刈谷市交通安全推進協議会に出席してまいりました。  
2) 2月5日刈谷ライオンズクラブ結成45周年記念式典に出席してまいりました。  
3) 2月7日11時より刈谷市緑化推進協議会が開催されており、吉原環境保全委員長に出席していただいております。

## 幹事報告

- 1) 2月2日の卓話予定でありました地区広報委員長 裕伸夫様よりごていねいなお詫びのメールが届きました。  
2) 2月12日のIMについて、市川副幹事と私が名札とプログラムを持って会場にいます。新入会員は12時から受付12時45分まで一般会員は13時から受付で、13時45分までに着席して下さい。

## 委員会報告

## ●親睦活動委員会

- 1) 花見家族例会を4月4日月曜日に開催致します。観劇家族例会を4月25日月曜日に開催致します。多くのご参加をお待ちしております。本日ご案内状を発送します。

## 会長あいさつ

### 春の味覚

太田宗一郎



先日テレビを見ていましたら、もう春を感じさせる露のとうが、雪の間から芽を出しているのを紹介しておりました。いよいよ春が近づいて来た事を感じました。

春にはいろいろな季節の山菜が出てきます。

まず初めにテレビ等で紹介されるのは露のとうであります。1月の終わり頃に芽を出しています。私たちが気が付いた頃にはもう花が咲いていることが多いです。香りが強くて、身近なところにある山菜であります。

土筆はこの辺りでも畑のふちや、土手、田んぼのあぜ道等に生えており子供の頃からなじんでいる春の食材で、佃煮風に煮たり卵とじや吸い物に入れるなど良く使われます。

最近ではなかなか見かけませんがヨモギも、土手などに採りに行き、ヨモギ餅などをつくってもらったのを思い出します。

ウドは、我が家では東浦の山のほうで山ウドを根ごと採ってきてもらったものを、庭の縁に植えておきました。春に芽の出る前に、底を抜いた段ボール箱をかぶせて、籾殻をいっぱい入れておき、もみの上に芽を出したときにモミを掻き分けて根元のところで切れば美味しいウドが取れ、味噌和えなどにして、毎年ウドを楽しんできました。

ぜんまい、わらび、ごごみ、タラの芽等は山里のほうに遊びに行ったときなどにとってくることが多い山菜です。

たけのこは孟宗竹の芽でありまして、地下茎で竹とつながっており、掘るのが一番大変な山菜です。たけのこの食べ方はいろいろあり、味噌和え、煮物、炊き込みご飯、吸い物、てんぷら等々です。

その他には、のびる、にりんそう、せり、わさび等々沢山の山菜があげられます。

山菜を採取するについて山に入るときは採取する地域の地理の詳しい方などと一緒に採りに行くことをお勧めします。山の中に入り山菜を採るのに夢中になって、道に迷うのはよくある話であります。また熊やいのしし等とも出くわすことがありますので注意が必要です。又採ってはいけないところもありますし、山菜と良く似た植物で毒性のあるものもありますので、注意が必要です。詳しい方と一緒に勧めます。

いずれに致しましても春の香りのする食材ですので、いろいろな食べ方がありますが、アクのあるものはアク抜きなどしてから味噌和え、おしたし、佃煮風、卵とじ、てんぷら等にして、おいしく、食べてください。

そして春の香りを楽しんでください。

## お祝い

2月の会員の誕生日…高野基弘、盛田豊一、橋本恭典、岩瀬正人、中林久美、伊藤節夫、女鹿晋輔会員。

配偶者の誕生日…平野恵子（和一）、野村弘子（重彦）、加藤好子（恒治）、杉浦光子（芳一）、磯村智子（達男）、内藤すみれ（正）、宮廻由美子（和正）様。

2月度結婚記念日…鈴木光彦、竹内一郎、廣根実、橋典子、馬場理好、市川裕大、白坂修二会員。

2月度入会記念日…三ツ松芳隆、黒田義之、羽田育哉、神谷光義、加藤恒治、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄会員。

## 卓話

### 「モノづくりと刈谷工業高校」

刈谷工業高等学校校長  
鈴木 直樹 様



日本にモノづくりの危機がひたひたと近づいています。例えば、工業高校の数は東海三県と九州を除けば急減しており廃校、統合の嵐です。全国の高校生は約350万人、工業系の生徒は30万人で僅か1割弱です。愛知県でも減少の兆候はあります。

高い技術力の東山工業はこの3月に廃校となります。しかし、モノづくりの灯は消してはいけません。刈谷工業は電気科1クラスの増加をして1学年280名になりました。その活動は地域から激励の声を頂いています。私は「学校は地域を変えることができる。」と確信しています。毎日遅くまで、モノづくり技能の練磨を続ける生徒やグラウンドから街に響きわたる弓道、野球やサッカー部員などの大きな声や、元気に挨拶ができる生徒たちの存在は地域の宝であり大事に育てなければならぬと思います。

特に最近の刈谷工業高校はモノづくりに関して注目を集めています。エコカーやロボット作り、超難関の電験3種の資格取得や電気工事士の大量合格、県溶接競技大会での優勝、全国技能五輪へ高校生初出場など数多くあります。

校訓「技術者たる前に人間（ひと）たれ」のもと、スキルズ&スピリッツを合言葉に頑張っています。

ところで、先月、日本の発明王豊田佐吉の生家がある静岡県湖西市から刈谷市亀城公園までの旧東海道70kmを「佐吉ロード」と名付け10人の生徒がたすきを繋ぎ走りました。秋深い三河路や御油の松並木はすばらしい景観でした。刈谷の地で、モノづくりをスタートさせた佐吉翁のことを想いながらチームワークで走る事は多くの人の共感を呼びました。これからも、モノづくりの意味をよく理解し、この学校を改善していきたいと思えます。